

年金者組合三八支部ニュース

第248号 2012年4月23日
発行責任者 高橋 靖昌 (三八支部委員長)
Tel 0178 (43) 8249
〒039-1166 八戸市根城7-7-19

6カ年計画推進は女性部の力で

会議の前に海野さんのハーモニカ演奏を楽しむ



第2回支部委員会で倍加の決意

4月11日に開かれた第2回支部委員会で、6カ年計画で現在の2倍の400名の組織にすることを確認しました。無年金者、低年金受給者を対象にすることや、老人クラブに働きかけること、全労連共済の有利さを武器に訴えていくことを確認しあいました。そのためにも今年度目標の達成がカギになることを確認しました。

■ 困っていること、悩んでいることは？

(3つ以内)

1, 自分や家族の健康	21人
2, 将来への不安	13人
3, 経済的な苦しさ	12人
4, 特になし	9人
5, 健康・介護以外の家族の問題	8人
6, 住まいの問題	3人
7, 近くに店がない・買い物に不便	3人
8, 家族の介護	2人
9, 交通 (バス・車がない)	2人
10, 近所づきあいがいい	1人

全日本年金者組合女性部は、生活実態を明らかにして、運動をすすめるために、全国アンケートをこの1月に実施しました。全国と県の集約の発表前ですが、三八の分がまとまったのでお知らせします。
85名の女性組合員に送付し、47名の回答を得ました。
第1回目は、「困っていること、悩んでいること」という項目について取り上げます。
半数近くの方が「自分と家族の健康で悩んでいる」ことが明らかになりました。親や配偶者、子どもも健康の問題が大きいということですね。次いで、「将来への不安と経済的な苦しさ」が4人に1人という割合に達しています。今後の運動の方向を示唆していると云えます。

健康・将来不安、苦しい家計が明らかに
女性部のアンケート結果まとまる(その1)

小倉紀美子さん 今年も250筆の署名

毎年、たくさんの「年金署名」を集めている小倉紀美子さんが今回も250筆の署名を集めて届けてくださいました。どんな小さな集まりにも署名用紙を持参し、気軽に声をかけて署名してもらっています。私たちも見習いたいものです。

三八の女性交流会

(散策、お茶、映画鑑賞)

- ・5月15日(火) 11時から15時半
- ・長者山下(組合事務所)
- ・申し込み 一山(43-3198)
- 小谷地(24-5879)
- 矢代(44-2346)
- ・締め切り 5月10日

青森県女性部交流の集い

時 6月8日(金) 12時半~15時半
所 青森県教育会館
講演 森口 藤子氏(中央本部役員)

花見は十和田官庁街通り 夜桜も見ます

満開の桜を安く、楽しみます

主催: 女性部、花と木を観る会

時 5月7日(月)

所 十和田官庁街通り、稲生川淵、うつぎ沢のしだれ桜、ポニー温泉

会費 2,500円(昼食、お茶、温泉入浴費、交通費)

持ち物 お酒類は各自持参(現地調達可能)、風呂道具

コース 教育会館→うつぎ沢のしだれ桜→十和田稲生川・市庁舎展望所

10:00 10:30 11:30~12:30

ポニー温泉 → 夜桜 → 三八教育会館

13:00~16:00 17:00~19:00 20:00

申込先 阿部忠男(38-7899) 小倉(27-1720)

小谷地(24-5879) 矢代(44-2346)

一山正子(43-3198) 申込切 4月30日

4、5、6月は春の仲間づくり月間です。220名の目標まであと9名です。もう一息です。お力を!

聞いてよ

捻挫は整骨院で

廣瀬 郷美

一年前から整骨院で膝の治療を受けているが、2月下旬に転んで、左手首を捻挫した。かなりの腫れと内出血があった。整骨院でその治療を始めた。周りの方々は「病院で受診し写真をとるべきだ」と言ってくれた。
私は、長年、病院で腰痛や膝の治療をしてきた。診断は写真やデータでわかるかもしれないが、病院の治療は治し方に心が無いと思う。時間と薬の根本治療は、体の歪みや矯正の根本治療は、外科的な治療に廻す。なんだか、置いてきぼりのでむなしさが残る。それに比べ、整骨院の先生は、病的な所を、手を当て、触れて診断し、矯正してくれ。悪い癖がまた戻らないように治療の度に説明し、矯正運動を手をかけて指導してくださる。このような治療を受けるのと、とても安心し、感謝し、満足感を感じる。
一般に、治療を受ける側と治療する側には相性というものが良いわけでもないだろう。しかし、よく研究されている先生に会うことか「考えさせられるこの頃である。
手の捻挫は、先生の適切な手当と漢方の湿布で、薬を服用することもなく、一か月で機能障害を残すことなく治った。